

# がんばる! 市民のちから

市民団体  
活動紹介

No. 10

NPO法人 ボネール

【所在地】 保原町字城の内120番地

【連絡先】 ☎576-7021 【代表者】 金澤艶子さん

このコーナーで活動を紹介させていただく市民団体を募集しています。  
問い合わせ 総務部市民協働推進室市民参画推進係 ☎575-1177

## 障がい者に対するやさしさと思いやりを

野菜の栽培



自ら望んで障がい者になる人はいないと思います。

精神障がいも含め、障がいは、誰もがなりうる可能性があるからこそ、自らの問題として障がい問題を考えていただきたいと思います。

精神障がいになる人は、やさしい人が多く、人を蹴落として、のし上がるタイプの人はいません。

不況やリストラ、雇用不安の中で、生活・子育て・介護など生活不安で精神的に追い詰められ「うつ症状」が広がる中、悩みや不安を相談・共有する場として、ボネールをご利用ください。

今の社会の中で、「人に対するやさしさ」「弱い人に対する思いやり」など人間の原点に立ったボランティア活動を求めています。

4月初旬に「第6回春のボネールまつり」を開催します。

団体、個人の方の芸能発表などを募集していますので、ご連絡をお願いします。



ホテルや旅館のタオルたたみ

### 障がいを持っていても 一人の人間として生きていくために

私たちは、精神障がい者に対する偏見や誤解が多い中で、障がい者とその家族が「友達と語り合いたい」「ゆつくり安心できるスペースが欲しい」「自分のペースで仕事をしたい」などのやさやかな想いから、平成6年に家族会(四つ葉会)を立ち上げ、「精神障がい者小規模作業所」として設立しました。  
「ボネール」という名称は、メン

バーが名づけたもので、フランス語で「しあわせ」という意味です。小人数で始まった交流、話し合い、趣味の活動を続けながら、規則正しい生活習慣、体力づくり、対人関係や仕事への取り組みなどを続けてきました。その中で、平成13年に「福祉ハウスボネール」を支える会が発足しました。

行政やボランティア団体の援助を受け、障がいを持っていても、一人の人間として地域の中で生きて行くために積極的に社会に関わり合うことをモットーに活動してきました。

平成18年にNPO法人格を取得し、翌年に「障害者自立支援法」に基づき「就労継続支援B」事業所として、新たな出発をしました。現在、事業所内では20人以上のメンバーが、ホテルや旅館のタオル作り、ふれあいセンターの清掃、牛乳パックを使った自主製品作り、メール便配達、食堂食材のための農作業などを行っています。

また、平成20年6月には直営の食堂「楽らく亭」を開店し、接客・調理・食器洗いなど地域社会との接点を広げる活動も展

開いています。

地域でも、支える会・行政・保原高校各団体、個人の方々の支援のもと、「春のボネールまつり」と秋の「チャリティコンサート」を開催しています。

何よりも地域の中で支えられ、障がい者に対する理解と共感を広げることがボネールの存在意義です。



保原高校などの支援によるチャリティコンサート



食堂「楽らく亭」の「豆まめ膳」